

完全分離の二世帯住宅へ大規模リフォーム

千葉県 H邸

■3世代が快適に暮らせる二世帯住宅へ

1階にご祖父様・ご祖母様、2階にお母様が暮らしていたH邸のリフォーム計画は、当初はお母様の居を1階へ移し、その後、2階を息子さんとご夫妻の新居に変えるという段階的なものでした。しかし、20年点検時に相談した住宅会社から、水廻りを伴う工事はまとめたほうが効率的という助言があり、大規模リフォームを実施することになりました。生活空間を上下階で完全に分ける二世帯住宅にするため、既存の玄関を子世帯用へ、勝手口を親世帯の玄関へリフォーム。親世帯のキッチンも世代間で異なる生活リズムを考慮し独立型に。2階の子世帯は、玄関の吹抜け部分を増床して浴室を設置。さらにロフトを新設してスペースの拡大を図りました。

■リフォームだから思いどおりの新居に

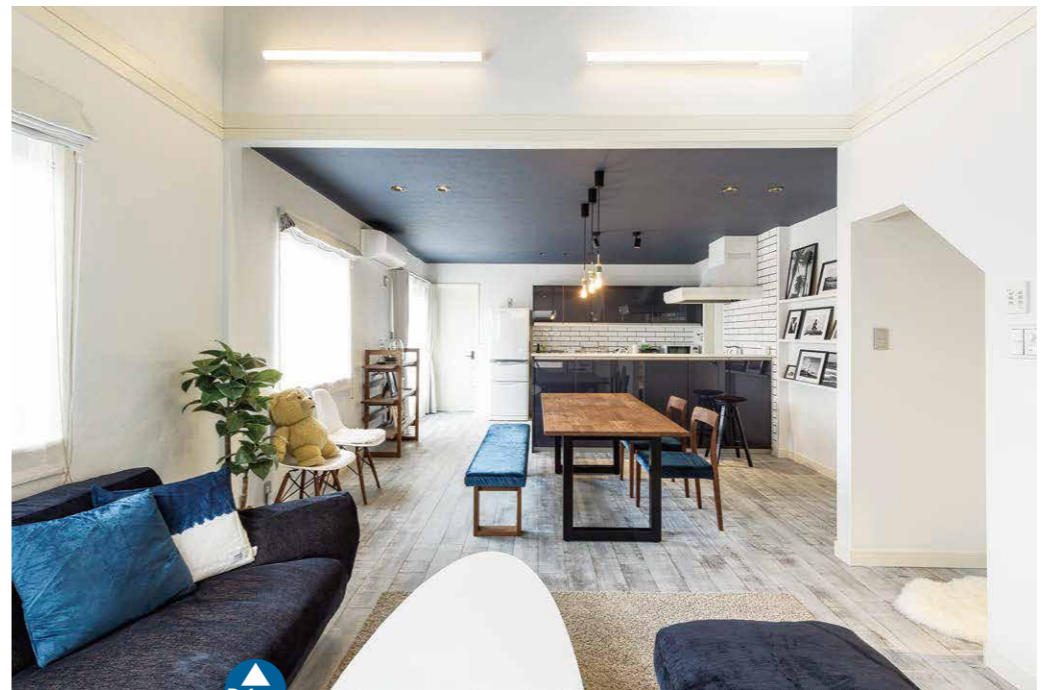
子世帯はビンテージ感漂うオークの床材や波打つキッチンタイルなど素材感にこだわりの、夢だったカリフォルニアスタイルに。海空を連想させる青と白が基調色になっています。「新築だと費用面、分譲だと自由度に限りがあったはず。思いどおりにできたのはリフォームだからこそ」とご夫妻は語ります。



2階の子世帯のLDK。元々のLDKと洋室をつなげ開放感のある空間に。床と勾配天井にビンテージ感漂うオーク材を使用。リビングは壁掛けテレビに合わせて窓をつくり替え。その脇の書棚の所にロフトへの階段がある。



小屋裏に断熱施工を施して新設された13畳のロフト。正面の2本のスリット開口は勾配天井のリビングに通じる。スリット開口の下には本棚がつけられている。



2階のLDK。洋室の間にあり、手狭な空間だった。

After
Before

DATA

リフォーム年	2017年
築年数	20年
規模	2階建て
建物面積	214.46㎡ (64.87坪) ※増築後
リフォーム面積	176.79㎡ (53.47坪)
	[増築面積6.21㎡ (1.87坪)を含む]

リフォームのプロが語る

点検・メンテナンスが定期的に施されたツーバイフォー住宅は長く暮らし継がれていく

今回、築20年で実施した定期点検をきっかけに、同居型の二世帯住宅を上下階で住み分ける完全分離二世帯住宅へ大規模リフォームのご用命をいただきました。きちんと定期的にメンテナンスされたツーバイフォー住宅は、高い耐久性を有し、何世代にもわたって暮らし継がれるという好事例です。

1階には親世帯用の玄関とアプローチを新設。2階は若夫婦が自分たちの好みやライフスタイルに合わせて間

取りや内装を全面リフォームしています。吹抜け部を増築して水廻りを充実させ、勾配天井を活かして小屋裏収納(ロフト)を新設するなど、モノコック構造の堅牢さを上手に活用しています。オーナー様の夢を実現するリフォームを通じて、年を経るごとに愛着が湧くような住まいを提供していければと思います。

(三井ホーム(株) 下倉 一利氏)

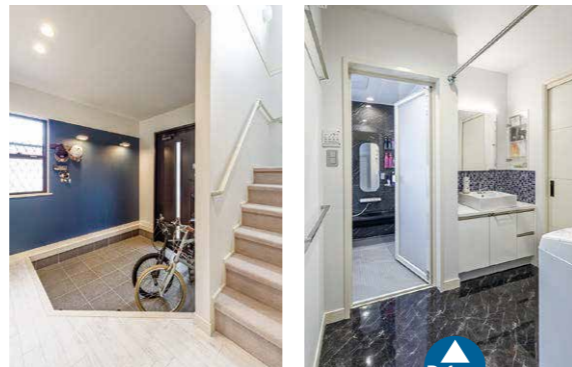
H邸設計・施工 / 三井ホーム(株)

子世帯住居



2階の子世帯の主寝室。好みの写真をプリント加工できる壁紙が採用されている。

既存の玄関の土間を広げ子世帯用に。吹抜け部分を増床して浴室に。洗面濃紺の壁は磁石やチョークが使える。室は2WAYの便利な回遊動線。



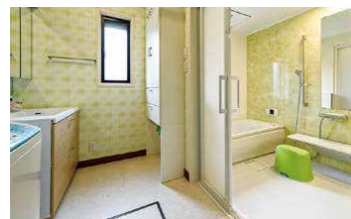
Before

親世帯住居

1階のリビングをお母様の部屋に変更。愛猫が遊ぶ飛び板とキャットウォークを設置。



東側の勝手口を親世帯の玄関にリフォームし、門アプローチを新設。



1階の親世帯の浴室・洗面室。手すりや3枚引き戸を設置しバリアフリー対応にリフォーム。



北側道路から見たH邸。カーポートの左にある玄関の位置は既存のままだが、内部は2階で暮らす子世帯用にリフォームされた。



玄関上部は吹抜けになっていた。